

平成 28 年度特定非営利活動に係る事業報告書

1 事業の成果

支援事業では、入院中と退院後の患児・家族を対象とする支援事業に重点を置き活動した。千葉県こども病院・千葉大学医学部附属病院・成田赤十字病院・帝京大学ちば総合医療センターの各小児科で、人形劇団の公演やアニマルセラピー等、単調な入院生活を少しでも活気のある、楽しいひとときが過ごせるように訪問活動を行った。また、例年の屋外イベントである野球観戦も行い、本年度は県内の少年自然の家にてキャンプを開催した。キャンプの参加者からは「普段は自然体験への参加はなかなか難しいが、医療者参加型のキャンプということで不安が軽減できた。」「同じ経験をした仲間同士で病気を気にせず活動したことで、孤独感解消の糸口を見つけられ今後の頑張りにもつながった」といった声があった。

このほか、小児がん経験者及びその家族が交流し、お互いの悩みや問題点を共有・情報交換する場として、院外にて茶話会を開催した。

電話相談については相談者がほとんどないのが現状であるが、各小児科への訪問時にはご本人ご家族からさまざまな相談を受けることがあったので、窓口が定着するよう今後も継続して実施する。

啓発事業では、総会後の講演会で 2 人の医師による「がん発症のリスクとなる喫煙」と「小児がん経験者の内分泌機能」について講演をいただいた。また、第 6 回公開講座では医師による「ロコモティブシンドローム」についての最新の情報の提供と、小児がん/乳がん経験者に講演をいただき、小児がん経験者・家族のより良い将来を築く一助とする機会を提供した。

活動の内容は随時ホームページに掲載し、会員だけでなく広く社会の皆様への情報提供に努めた。会報誌は、ミルフィーユ vol.6 を発行することができた。

その他、千葉県こども病院と千葉大学医学部附属病院小児科、そして千葉県がんセンターでの犬とのふれあい活動のボランティア団体 C A P P への感謝として毎年カレンダー製作・贈呈しているが、今年度も千葉県こども病院の子どもたちと袖ヶ浦特別支援学校院内教室の協力を得て、感謝の気持ちを表すことができた。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	
(1) 支援事業	入院中の患児とその家族への応援事業	院内イベント	月3~6回	・千葉県こども病院 ・千葉大学医学部附属病院小児科 ・帝京ちば総合医療センター小児科 ・成田赤十字病院小児科	2~4名	30名	289
	退院後の患児・家族の交流を目的としたイベントの開催	野球観戦	H28. 8. 11 (土)	QVCマリンフィールド	4名	10名	51
		キャンプ	H28. 9. 17 (土) ~19 (月)	千葉県香取市水郷小見川少年自然の家	30名	70名	2105
	茶話会		H28. 7. 10 (日)	千葉県内(成田市)	2名	10名	1
	電話相談		毎月第1火曜	社員自宅	1名	0名	12
(2) 啓発事業	患児家族向け講演会		H28. 6. 5 (日)	千葉県文化会館 聖賢堂	10名	40名	68
	公開講座		H28. 11. 6 (日)	千葉市文化センター 5F セミナー室	10名	30名	112
	支援自販機		随時	千葉県内			10
(3) 広報事業	ホームページの運営		随時	社員自宅	4名	不特定多数	311
(4) 会報誌発行	会員対象の会報の印刷、郵送		H28. 4. 29 (金)	社員自宅および市内公民館	10名	会員約200名 ・各施設での外来通院患者 ・家族150名	529